

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.192

2023年9月期調査



<調査要項>

・調査時点	2023年	9月上旬	
・調査対象期間	2023年	7-9月実績	
	2023年	10-12月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	446社 (有効回答率99.1%)	
・業種別企業数	製造業	136社、卸売業	67社
	小売業	93社、運輸・サービス業	57社
	建設業	67社、不動産業	26社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

7-9月の概況

●当金庫取引先の景況感は2四半期連続改善

当金庫取引先の2023年7-9月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の13.0%で前期(2023年4-6月期13.5%)から▲0.5ポイント、「悪い」は18.2%で前期(同20.3%)から▲2.1ポイント。全業種総合の業況判断DIは、前期▲7から+2ポイントの▲5となり、2四半期連続で改善した。

業種別で見ると、製造業の業況判断DIは、前期▲3から▲3ポイントの▲6、非製造業の業況判断DIは、前期▲8から+3ポイントの▲5となった。

●来期は概ね小幅改善の見通し

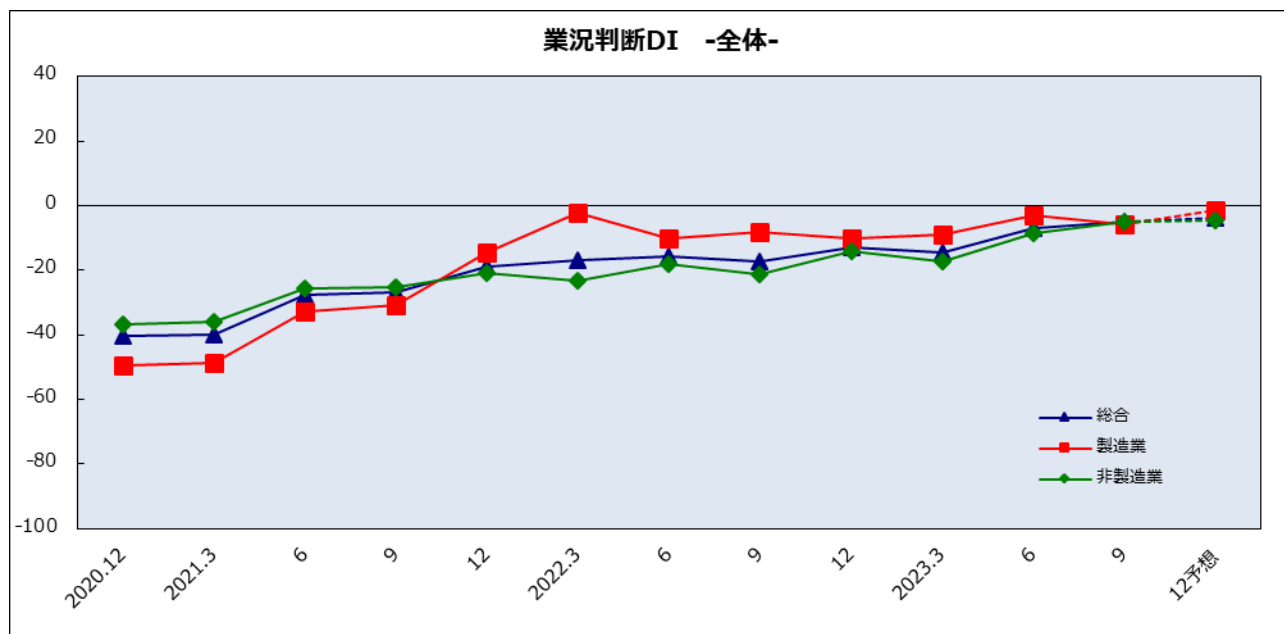
来期(2023年10-12月期)の全業種総合の予想業況判断DIは、前期▲5から+1ポイントの▲4となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断DIは今期▲6から+5ポイントの▲1、非製造業は今期から横ばいの▲5となる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

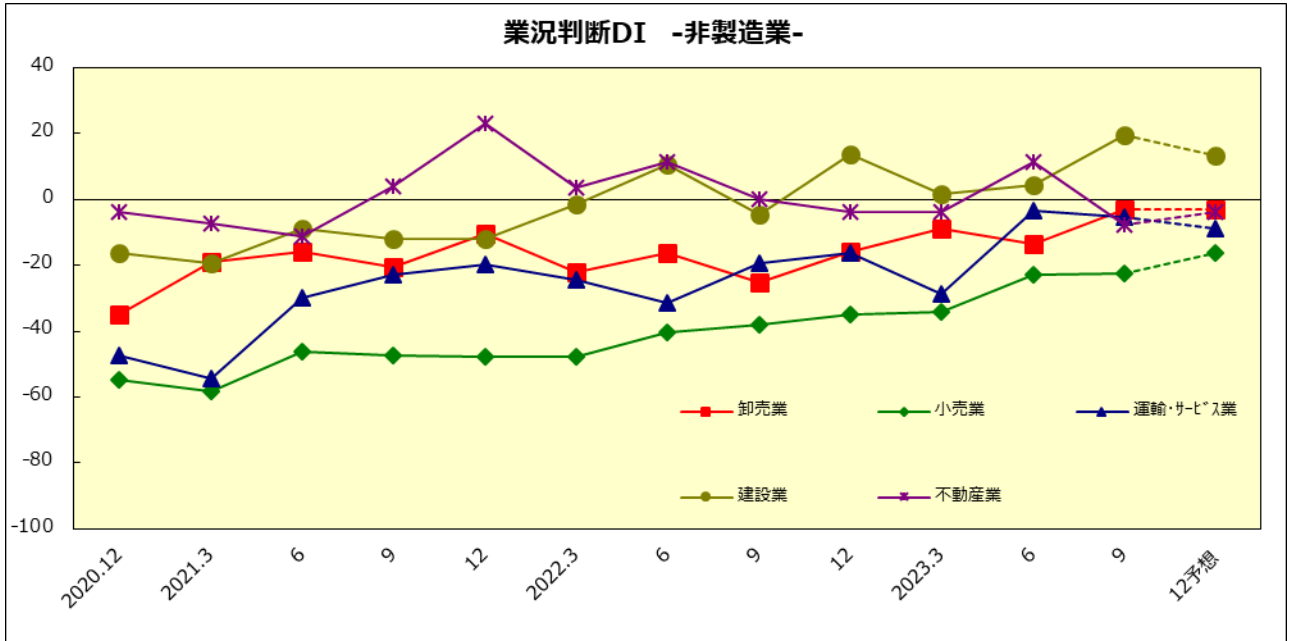
・業況判断DI(総合)

業種	調査時期	4期前	前々期	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
総合 (446社)		-17 (↓)	-13 (↑)	-15 (↓)	-7 (↑)	-5 (↑)	-4 (↑)
製造業 (136社)		-8 (↑)	-10 (↓)	-9 (↑)	-3 (↑)	-6 (↓)	-1 (↑)
非製造業 (310社)		-21 (↓)	-14 (↑)	-17 (↓)	-8 (↑)	-5 (↑)	-5 (→)

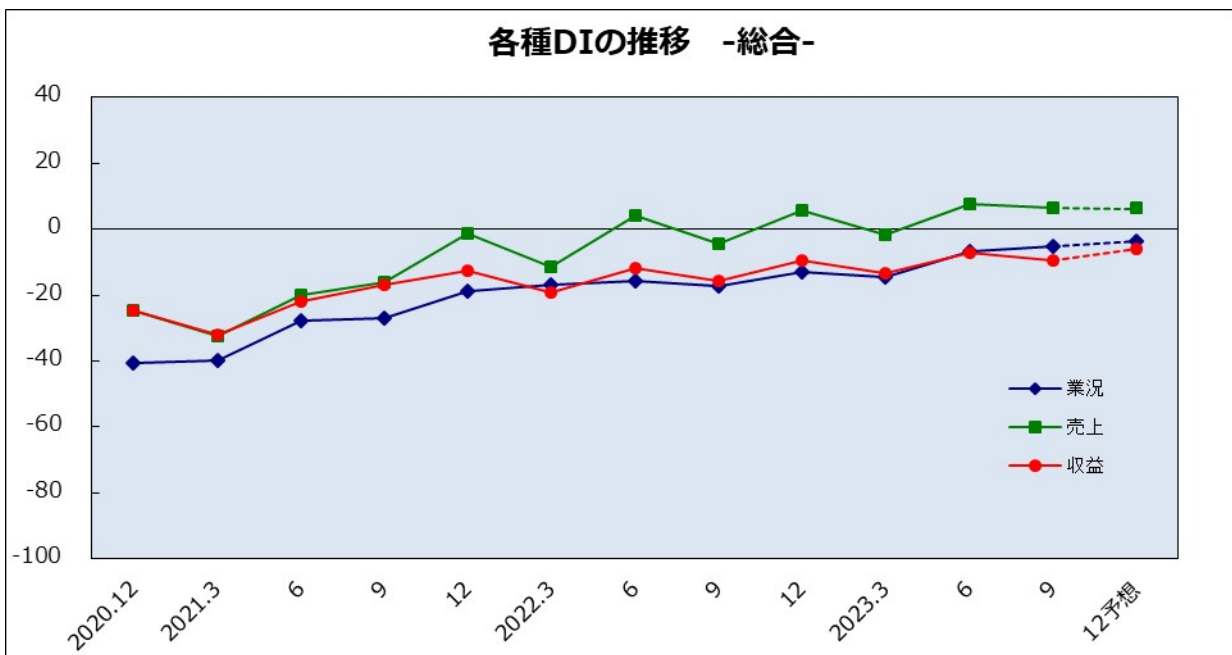


・業況判断 DI (非製造業)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
卸売業 (67社)		-25 (↓)	-16 (↑)	-9 (↑)	-13 (↓)	-3 (↑)	-3 (→)
小売業 (93社)		-38 (↑)	-35 (↑)	-34 (↑)	-23 (↑)	-23 (→)	-16 (↑)
運輸・サービス業 (57社)		-19 (↑)	-16 (↑)	-29 (↓)	-4 (↑)	-5 (↓)	-9 (↓)
建設業 (67社)		-4 (↓)	14 (↑)	1 (↓)	5 (↑)	19 (↑)	13 (↓)
不動産業 (26社)		0 (↓)	-4 (↓)	-4 (→)	12 (↑)	-8 (↓)	-4 (↑)



■ 業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から悪化

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の14.0%で前期(16.2%)から▲2.2ポイント、「悪い」は19.9%で前期(19.1%)から+0.8ポイント。業況判断DIは前期▲3から▲3ポイントの▲6となり、前期から悪化した。

来期は金属製品、食料品など9業種で改善、一般機械器具、電気機械器具など5業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲6から+5ポイントの▲1と改善する見通しである。

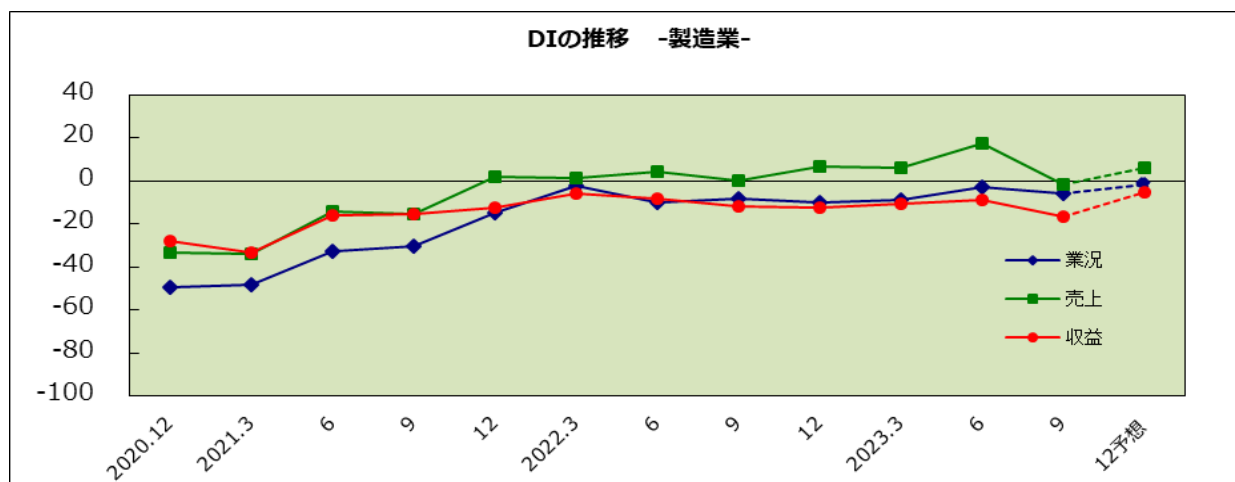
●今期は21業種中、7業種で改善、6業種で悪化

一般機械金器具、電気機械器具など7業種で改善、金属製品、輸送用機械など6業種で悪化
21業種中…業況改善7業種 / 業況横這8業種 / 業況悪化6業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
金属製品 (20社)		-5 (↓)	-21 (↓)	-17 (↑)	-5 (↑)	-25 (↓)	-10 (↑)
一般機械器具 (16社)		-13 (↓)	0 (↑)	6 (↑)	-6 (↓)	0 (↑)	-13 (↓)
輸送用機械器具 (14社)		-17 (↓)	17 (↑)	0 (↓)	27 (↑)	0 (↓)	0 (→)
食料品 (11社)		-15 (↑)	-7 (↑)	-21 (↓)	-14 (↑)	-14 (→)	-7 (↑)
電気機械器具 (8社)		0 (↑)	-38 (↓)	-38 (→)	-50 (↓)	-25 (↑)	-38 (↓)
皮革製品 (8社)		38 (↑)	13 (↓)	13 (→)	50 (↑)	50 (→)	25 (↓)
プレス・メッキ (7社)		0 (↑)	14 (↑)	14 (→)	-29 (↓)	-14 (↑)	-14 (→)
建築用金属製品 (7社)		14 (↑)	-29 (↓)	-14 (↑)	0 (↑)	-29 (↓)	-14 (↑)
窯業・土石 (6社)		0 (↓)	-20 (↓)	-40 (↓)	-20 (↑)	40 (↑)	60 (↑)
出版・印刷 (5社)		-50 (↓)	-50 (→)	-17 (↑)	0 (↑)	-33 (↓)	-17 (↑)
繊維製品(靴下) (5社)		-40 (↑)	-20 (↑)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	20 (↑)

調査員のコメント

- ・取引先からの値上げ、人件費高騰など利幅が少なく、受注状況に応じて厳しい月がある。
(金属製品)
- ・原油高による仕入価格上昇分は販売価格に転嫁でき利益も確保しているが、人員不足が課題
(一般機械器具)
- ・小麦の仕入単価変動が大きく販売単価へ転嫁ができておらず、販売先と交渉を行っており、業況改善に努めている
(食料品)



●前期から改善

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の11.9%で前期(9.0%)から+2.9ポイント、「悪い」は14.9%で前期(22.4%)から▲7.5ポイント。業況判断DIは前期▲13から+10ポイントの▲3となり、前期から改善した。

来期は農畜産物・水産物で改善、建築材料で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期から横ばいの▲3となる見通しである。

●今期は9業種中、4業種で改善、2業種で悪化

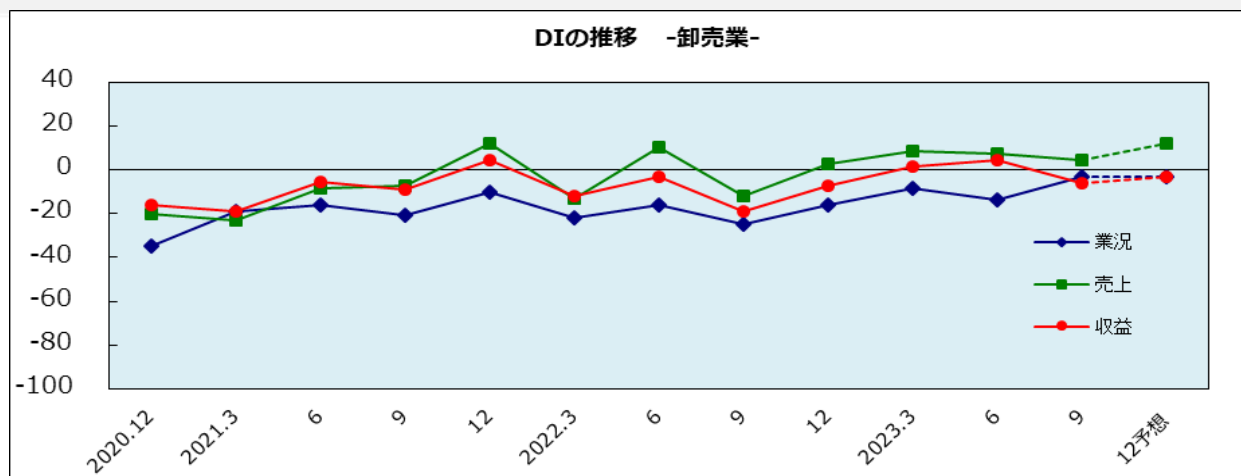
機械器具、建築材料など4種類で改善、衣服身回品、再生資源で悪化した。

9業種中…業況改善4業種 / 業況横這3業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3前期	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
機械器具 (18社)		-26 (↓)	-21 (↑)	5 (↑)	-11 (→)	16 (↑)	16 (→)
建築材料 (10社)		-22 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	11 (↑)	-11 (↓)
農畜産物・水産物 (10社)		-30 (↓)	-27 (↑)	-55 (↓)	-50 (→)	-40 (↑)	-20 (↑)
飲食料品 (9社)		-22 (↓)	11 (↑)	11 (→)	-22 (→)	0 (↑)	0 (→)
金属材料 (6社)		0 (→)	-33 (↓)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
化学製品 (3社)		-67 (↑)	-33 (↑)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
衣服身回品 (2社)		-67 (↓)	-33 (↑)	-50 (↓)	-33 (→)	-50 (↓)	-50 (→)
家具建具じゅう器 (2社)		-100 (↓)	-100 (→)	-100 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
再生資源 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (→)	0 (↓)	0 (→)
その他 (1社)		0 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-14 (↓)	-14 (→)

調査員のコメント

- ・ 従来、注文の数に制限等は設けていなかったが、物価高、運送費高騰の影響もあり、少ない個数での注文は受けないようにしている。 (機械器具)
- ・ 郊外店舗向けの売上が好調、前期以上の売上確保。今後、R5.10月に酒税改正もあり、業界含め先が読みにくい状況。人材確保し営業体制構築の上、新規取引先確保する方針。 (飲食料品)
- ・ 原材料価格高騰もあり、利益率低下しているが、安定した受注確保。 (建築材料)



小 売 業 93 社

●前期から横這い

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の5.4%で前期(7.6%)から▲2.2ポイント、「悪い」は28.0%で前期(30.4%)から▲2.4ポイント。業況判断DIは前期から横這いの▲23となった。

来期は飲食料品、衣服身回品などで4業種で改善、スーパー・コンビニ、家電機器の2業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲23から+7ポイントの▲16と改善する見通しである。

●今期は12業種中、5業種で改善、4業種で悪化

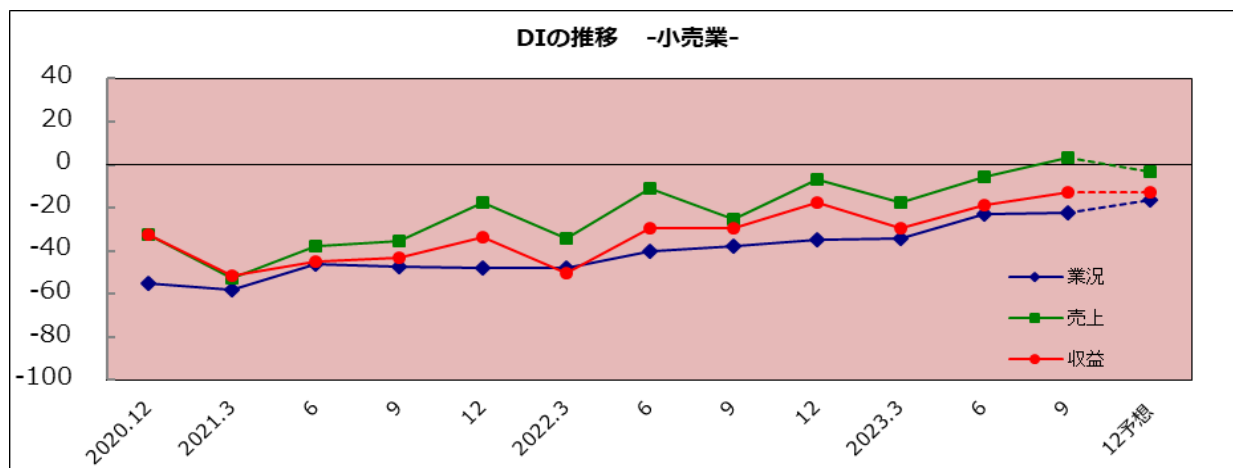
飲食料品、飲食店など5業種で改善、衣服身回品、ガソリンなど4業種で悪化した。

12業種中・・・業況改善 5業種 / 業況横這 3業種 / 業況悪化 4業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
飲食料品	(24社)	-42 (→)	-50 (↓)	-46 (↗)	-33 (→)	-32 (↗)	-24 (↗)
衣服身回品	(15社)	-60 (→)	-33 (↗)	-64 (↓)	-47 (→)	-56 (↓)	-38 (↗)
飲食店	(10社)	-55 (→)	-45 (↗)	-36 (↗)	-10 (→)	-9 (↗)	0 (↗)
ガソリン	(10社)	50 (↗)	0 (↓)	40 (↗)	-33 (→)	-40 (↓)	0 (↗)
自動車	(8社)	-38 (→)	-50 (↓)	-25 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
スーパー・コンビニ	(6社)	-22 (→)	11 (↗)	11 (→)	10 (→)	0 (↓)	-11 (↓)
書籍・文具	(5社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-33 (↓)	-33 (→)
家電機器	(4社)	-25 (↗)	-25 (→)	0 (↗)	-50 (→)	25 (↗)	0 (↓)
医薬品・化粧品	(3社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
娯楽用品	(2社)	-100 (→)	-100 (→)	-100 (→)	-50 (→)	0 (↗)	0 (→)
時計・眼鏡	(2社)	-100 (↓)	-50 (↗)	-67 (↓)	-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)
木材建築材料	(2社)	-100 (→)	0 (↗)	-100 (↓)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)
その他	(1社)	-50 (↓)	-75 (↓)	-75 (→)	20 (→)	0 (↗)	0 (→)

調査員のコメント

- ・仕入価格が高騰しており、売上横ばい。今後、動向注視したい。(飲食料品)
- ・国内・外の観光客どちらも増えており、売上増加傾向。(衣服身回品)
- ・業況回復の兆しありますが、経費面の増加により収益面は伸び悩む。人材確保が課題であり、パート・アルバイト含め雇用体系の見直しが必要。(ガソリン)



●前期から小幅悪化

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 12.3%で前期(12.5%)から▲0.2ポイント、「悪い」は17.5%で前期(16.1%)から+1.4ポイント。業況判断DIは前期▲4から▲1ポイントの▲5となり、前期から小幅に悪化した。

来期は修理業、物品賃貸など2業種で改善、クリーニング・理容・美容、旅館宿泊所の2業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲5から▲4ポイントの▲9と悪化する見通しである。

●今期は7業種中、2業種で改善、2業種で悪化

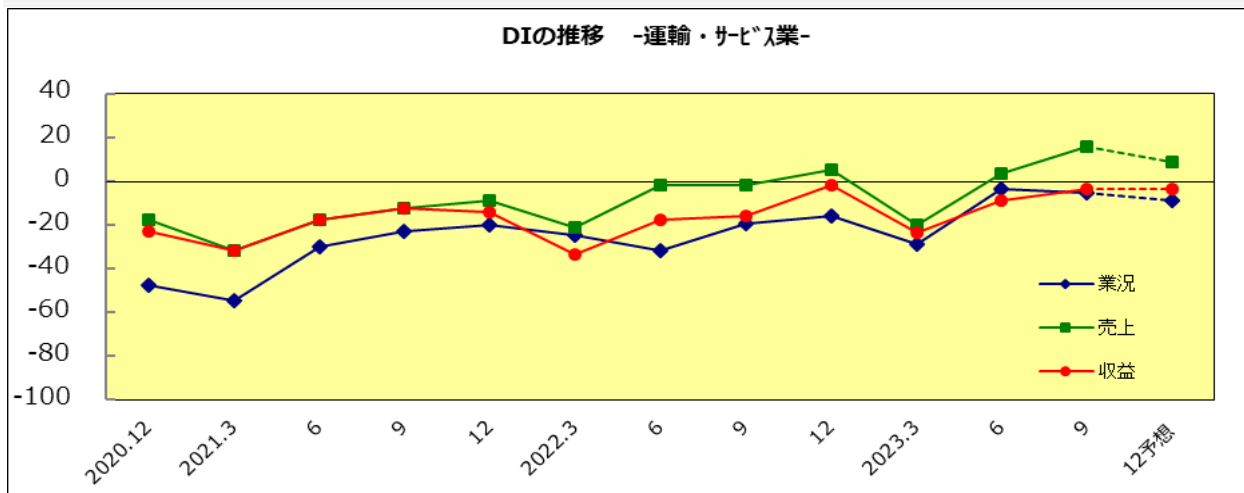
運輸業、クリーニング・理容・美容など2業種で改善、自動車整備・駐車場など2業種で悪化。

7業種中・・・業況改善2業種 / 業況横這3業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
運輸業 (15社)		-14 (↗)	0 (↗)	-15 (↘)	-8 (↗)	0 (↗)	0 (→)
自動車整備・駐車場 (13社)		-33 (→)	-22 (↗)	-22 (→)	10 (↗)	0 (↘)	0 (→)
クリーニング・理容・美容 (10社)		-29 (→)	-29 (→)	-71 (↘)	14 (↗)	29 (↗)	-14 (↘)
修理業 (7社)		-100 (↘)	-100 (→)	-33 (↗)	-33 (→)	-33 (→)	0 (↗)
情報サービス・調査・広告 (4社)		0 (↗)	-25 (↘)	-100 (↘)	-25 (↗)	-50 (↘)	-50 (→)
物品賃貸 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	50 (↗)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	-50 (→)	0 (↗)	0 (→)	-50 (↘)
その他 (2社)		0 (↗)	0 (→)	-19 (↘)	-7 (↗)	-13 (↘)	-13 (→)

調査員のコメント

- ・トラックドライバーの残業・労働問題について、顧問の先生と対策や変更手続中。現在、トラックは全て稼働しており、人員も確保している。(運輸業)
- ・従業員の高齢化が進んでおり、若年層の自動車離れもあり業界的にも厳しい。(自動車整備・駐車場)
- ・今後、人材確保が課題である。(情報サービス・調査・広告)



●前期から大幅改善

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の25.4%で前期(21.2%)から+4.2ポイント、「悪い」は6.0%で前期(16.7%)から▲10.7ポイント。業況判断DIは前期+5から+14ポイントの+19となり、前期から大幅改善した。

来期は総合工事、職別工事、設備工事で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期+19から▲6ポイントの+13と悪化する見通しである。

●今期は3業種全てで改善

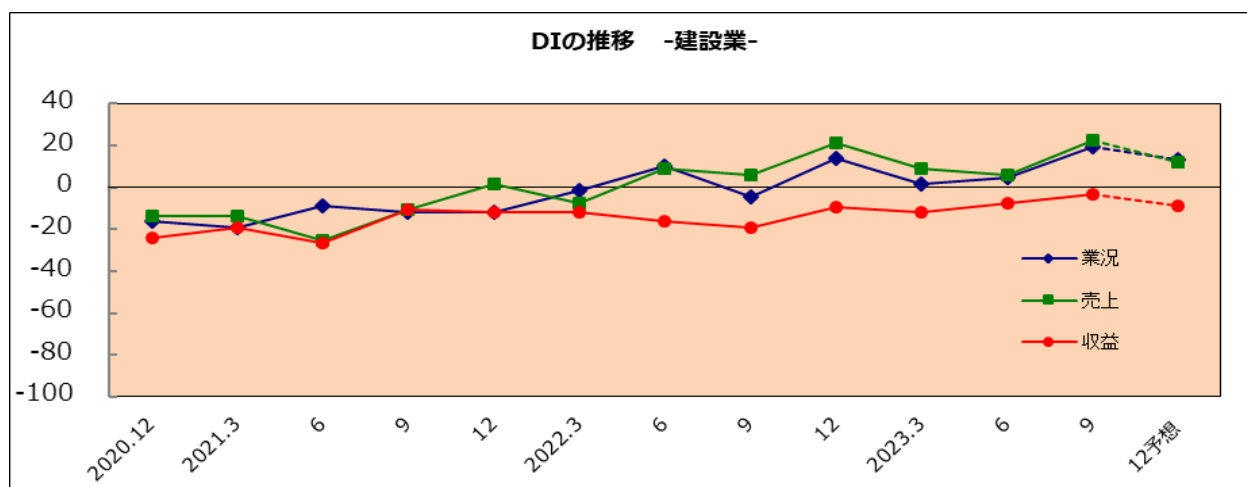
総合工事、職別工事、設備工事で全て改善となった。

3業種中…業況改善 3業種 / 業況横這 0業種 / 業況悪化 0業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
総合工事 (31社)		-6 (↓)	3 (↑)	-6 (↓)	-6 (→)	13 (↑)	6 (↓)
職別工事 (21社)		0 (↓)	30 (↑)	14 (↓)	20 (→)	33 (↑)	29 (↓)
設備工事 (15社)		-7 (↓)	13 (↑)	0 (↓)	8 (→)	13 (↑)	7 (↓)

調査員のコメント

- ・ 人材不足より、外国からの従業員派遣制度を取り入れているが長期間滞在が出来ない為不安がある。 (総合工事)
- ・ 賃上げを考えているものの転嫁できず資金繰りも厳しい。人材確保、経費削減が課題。 (職別工事)
- ・ 材料費高騰の影響受けるも価格転嫁できており、売上、利益ともに昨年度と同程度の推移。事業承継についてはまだ考えていない。 (設備工事)



●前期から大幅悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の7.7%で前期(15.4%)から▲7.7ポイント、「悪い」は15.4%で前期(3.8%)から+11.6ポイント。業況判断DIは前期+12から▲20ポイントの▲8となり、前期から大幅に悪化した。

来期は不動産代理・仲介で改善、建売・土地売買他3件で横這いと予想しており、予想業況判断DIは今期▲8から+4ポイントの▲4と改善する見通しである。

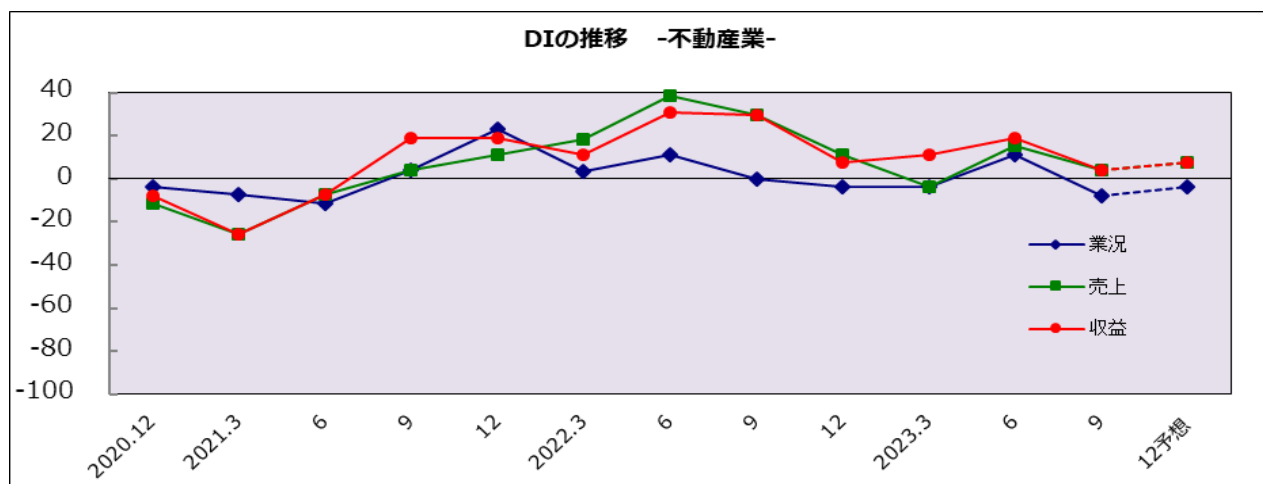
●今期は4業種中、3業種で悪化、1業種で横這い

建売・土地売買、不動産代理・仲介など3業種で悪化、貸事務所・土地賃貸で横這いとなった。
4業種中・・・業況改善0業種 / 業況横這1業種 / 業況悪化3業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/7-9期	2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期
建売・土地売買 (13社)		8 (↓)	0 (↓)	-17 (→)	8 (→)	-8 (↓)	-8 (→)
不動産代理・仲介 (8社)		-11 (↓)	-11 (→)	11 (→)	13 (→)	-13 (↓)	0 (↗)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		0 (→)	-50 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (2社)		0 (→)	100 (↗)	0 (→)	100 (→)	0 (↓)	0 (→)
その他 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・業況は順調に推移、資材不足による工期のずれもほぼ解消しつつある。 (建売・土地売買)
- ・不動産仕入価格の高騰により不動産売買のウェイトを下げ、賃貸を売上のメインとした結果、安定した利益を確保できた。 (建売・土地売買)
- ・材料価格の高騰を売上に転嫁できているが、販売価格が上昇することにより自宅の建築時期を見合わせる顧客もあり、売上減少が懸念される。 (建売・土地売買)



~MEMO~